

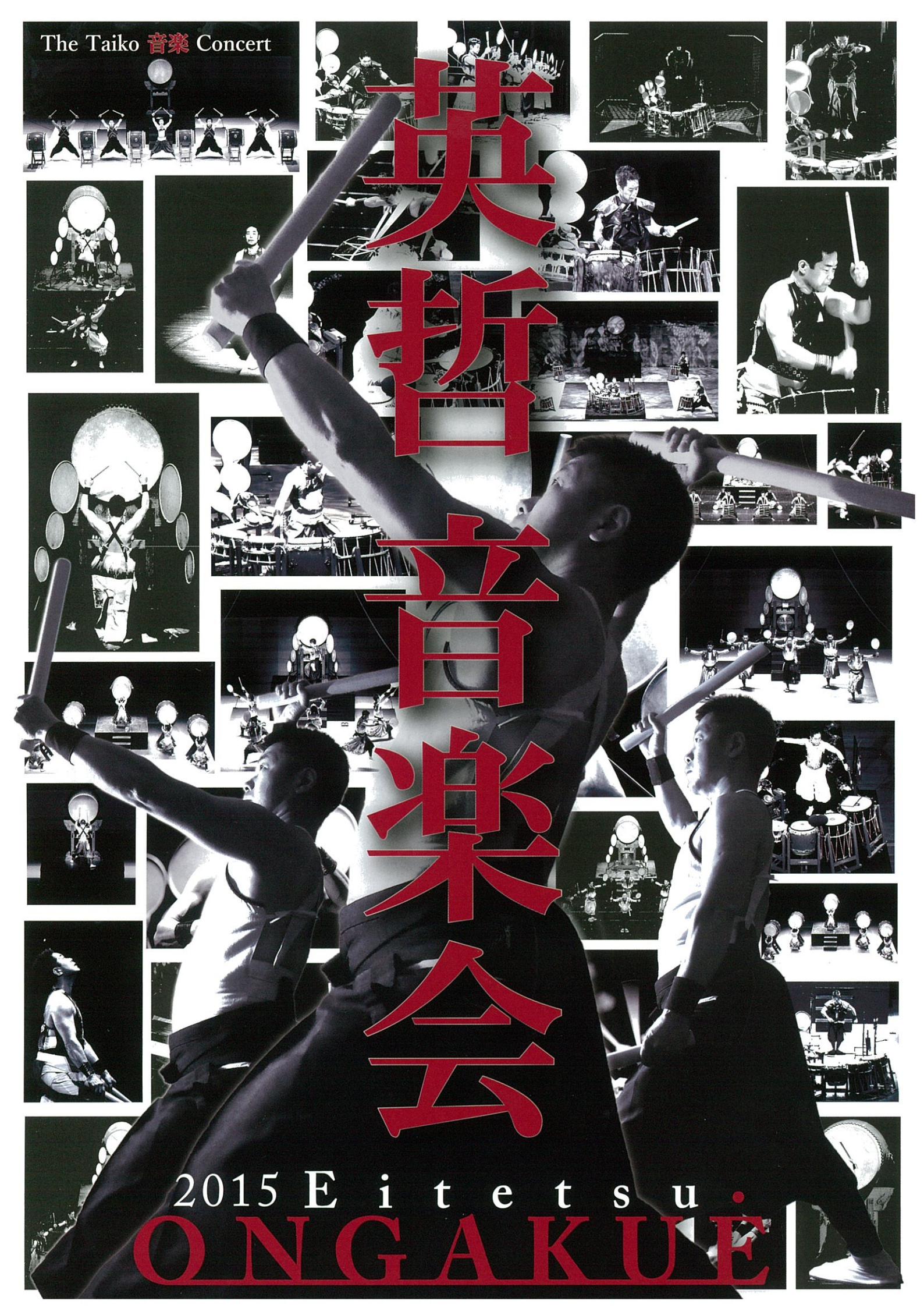
The Taiko 音楽 Concert

英 哲

音 楽 会

2015 E i t e t s u

ONGAKUE



林英哲 コンサートスペシャル 2015

英哲 音楽会

Eitetsu Ongakue

The Taiko 音楽 Concert

— 林英哲がこれまで太鼓で紡いで来たものは、演奏とも舞踊とも演劇ともちがう形容しがたい種類のアートではあるが、その根底にあるのはまぎれもなく「音楽」そのものだ—

そう断言したのは、長く英哲作品を見つめ続けて来た尖鋭的ライト・ワークで知られる海藤春樹だ。

前作「迷宮の鼓美術少年」で、美術家・横尾忠則と自身の大生を重ねたドラマチックな表現に挑んだ林英哲が、今回、取り組むのはシンプルにその「音楽」。

単なる一打の音のようであり「音楽」
打法や所作のようであり「音楽」

— 44年前、太鼓の演奏形態を新たな音と形にするところから出発し、以後、試行しながら織り上げ続けた林英哲の、肉体と思想を織り込んだ「音楽会」。

進境著しい若き鼓手達「英哲風雲の会」と共に織りなす、新旧作品の音楽の展覧会を、新たな演出で繰り広げる。

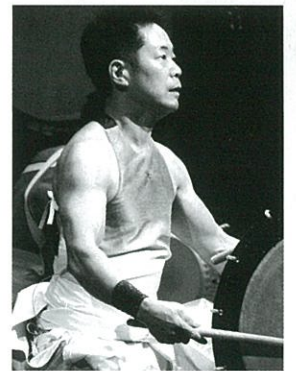


Photo:S.Baba

林英哲 (太鼓奏者) Eitetsu Hayashi

1952年広島県生まれ。

11年間のグループ活動後、82年日本で初めての太鼓独奏者として活動を開始。84年オーケストラ曲「交響的変容」(作曲:水野修孝)で、太鼓独奏者としては初めてカーネギー・ホールにデビュー。現代音楽の分野でも前例のない太鼓ソリストとして国際的に高い評価を得た。以来、かつての日本の伝統にはなかったテクニックと体力を要する大太鼓のソロ奏法の創造、多種多様な太鼓群を用いた独自奏法の創作など、ジャンルを超越した、まったくオリジナルな太鼓表現を築きあげている。98年からは新たなステージとして、林英哲自身が刺激を受けた芸術家の作品や生き方をテーマに太鼓ドラマともいえるべき劇的舞台作品を創作、コンサートツアーもスタート。「万葉」(マン・レイ)、「若沖の翼」(伊藤若沖・光を時く人)(高島野十郎)、「漣の蓮」(浅川巧)そして「レオナルドに羽賜へ」(藤田嗣治)と全国各地で公演、国内はもとより海外でも評判を得る。13年は第6弾となる「迷宮の鼓美術少年」(横尾忠則)を発表し、14年新春ツアーも行った。

00年ドイツ・ワルトビューネでベルリン・フィルと共演、「飛天遊」(作曲:松下功)を演奏し2万人を超える聴衆を圧倒させた。07年ソロ活動25周年記念コンサートを岩村力指揮による全曲太鼓協奏曲で企画・構成初演、絶賛を博す。

近年は和・洋器奏者や伝統芸能の歌舞伎役者、日本舞踊家やプリンシパルなど、気鋭の若手との共演も多く、ダンス、舞踏、アート・パフォーマンスとのコラボレーションなど、

ジャンルを超えた世界のアーティストとも意欲的に交流。日本から世界に向けて発信する新しい「太鼓音楽」の創造に取り組み、太鼓の音楽としての可能性・魅力を提示し続けている。14年秋、文化庁よりH26年度海外滞在型「文化交流使」に任命されカリブ海・北米での公演、WSを実施。著書「太鼓日月」独自の軌跡」講談社刊。洗足学園音楽大学客員教授、東京藝術大学非常勤講師、筑波大学大学院特別講師。97年第47回芸術選奨文部大臣賞 01年第8回日本文化藝術振興賞
林英哲オフィシャルHP <http://www.eitetsu.net>

英哲風雲の会 Eitetsu Fu-un no Kai

日本各地で活躍する若手太鼓奏者の中から、林英哲の音楽に共鳴する実力者が揃う太鼓ユニット。95年、林英哲作曲の大太鼓合奏曲「七星」の演奏のために結成。その後、林英哲コンサートのアンサンブルメンバーとして活動する他、独自の演奏活動も行う、いずれも次世代を担う俊英たちである。

07年は林英哲ソロ活動25周年記念公演でオーケストラとの共演を果たし、その後もドイツをはじめ海外でも林英哲と共にオーケストラと共演している。12年9月には国立劇場主催「日本の太鼓」公演で、林英哲監督の元、「光の群像」と題しメンバー創作曲中心でトリを務めるなど、「英哲風雲の会」単独で国内外の公演を行ない活動の場を広げ、その圧倒的な迫力とライブパフォーマンスは大反響を呼んでいる。

今回のコンサートでは、メンバーの中から、上田秀一郎はせみきた・田代誠・辻祐が出演する。



田代誠



上田秀一郎



辻祐



はせみきた

■会場 世田谷パブリックシアター (〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1 TEL03-5432-1526)

東急田園都市線三軒茶屋駅より地下通路にて直結/世田谷線三軒茶屋駅となり

■日時 2015年1月21日(水)~1月25日(日) (1/23は休演)

■出演 林英哲 (構成・演出・演奏) [英哲風雲の会] 上田 秀一郎、はせ みきた、田代 誠、辻 祐

〈料金〉S席 7,000円 / A席 5,000円 (全席指定) ※未就学児童入場不可 〈主催〉林英哲公演実行委員会

〈提携〉公益財団法人せたがや文化財団 世田谷パブリックシアター 〈後援〉世田谷区、講談社 〈協賛〉浅野太鼓文化研究所

〈協力〉キングレコード 〈運営・問い合わせ〉東京音協 03-5774-3030 (平日 10:00~17:30)

2015年	21	22	23	24	25
1月	[水]	[木]	[金]	[土]	[日]
マチネ		14:00 アフター トーク有り	休演		14:00
ソワレ	19:00			17:00	

〈プレイガイド〉

- チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:244-134) セブンイレブン、サークルKサンクス、ぴあ店頭
- ローソンチケット 0570-000-407 (10:00~20:00) オペレーター 0570-084-003 (Lコード:32766) ローソン、ミニストップ店頭

- 東京音協 <http://t-onkyo.co.jp>
- イープラス <http://eplus.jp/>
- 世田谷パブリックシアターチケットセンター 03-5432-1515 (10:00~19:00) 12/29~1/4は休み [PC] <http://setagaya-pt.jp> [携帯] <http://setagaya-pt.jp/m/>

*1月22日のマチネ終了後、アフタートーク予定
*トークゲストは12月にHPで告知します

○託児サービスあり (定員あり、要予約、料金2,000円) 対象:生後6ヶ月以上9歳未満 (障がいのあるお子様についてはご相談ください。)

○お申込:ご希望日の3日前の正午まで 03-5432-1526 (世田谷パブリックシアター)

○車椅子スペースあり (定員あり、要予約) お申込 03-5432-1515 (世田谷パブリックシアターチケットセンター)

※各公演日前日19時まで。S席の10%割引 (付添者は1名まで無料)

舞台制作<舞台監督>塩谷憲彦 <照明デザイン>海藤春樹 <照明>安藤元映(ライズ) <音響>新居章夫(niis) <衣装>阿部美千代 <トランプ>大宝運輸 <宣伝デザイン 企画プロデュース>海藤春樹 <デザイン>慶徳実紀(ハズム☆デザイン) <Photos>S.Oguma / N.hayashi / H.shimizu / i-syu / H.kaito